

6福薬業発第526号  
令和7年3月13日

地区薬剤師会会長 各位

公益社団法人福岡県薬剤師会  
常務理事 中原 学

第75回全国学校薬剤師大会（神奈川県開催）について（周知依頼）

平素より、本会会務に格別のご高配を賜り厚く感謝申し上げます。

さて、標記大会につきまして、神奈川県薬剤師会より別添のとおり通知がありましたのでご案内申し上げます。

ご多忙中恐れ入りますが、貴会会員へのご周知方よろしくお願いいたします。

令和7年3月4日

各都道府県薬剤師会会長 様

第75回全国学校薬剤師大会実行委員会  
委員長 小川 護  
(公益社団法人神奈川県薬剤師会会長)

第75回全国学校薬剤師大会について（周知のご依頼）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当会会務運営に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、第75回全国学校薬剤師大会を下記の通り、神奈川県にて開催することとなりました。多くの学校薬剤師の皆様にご参加いただけますよう、大会の周知について格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

また、大会チラシをPDFデータにてお送りいたしますので、ご活用いただけますと幸いです。

なお、参加申込み等詳細については令和7年5月頃のご案内を予定しておりますことを申し添えます。

敬具

記

大会名 : 第75回全国学校薬剤師大会  
日時 : 令和7年11月20日(木) 17:00~20:45(予定)  
会場 : ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル  
(神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1)  
開催形式 : 現地開催のみ

以上

【大会事務局】

〒235-0007

神奈川県横浜市磯子区西町14-11

公益社団法人神奈川県薬剤師会 担当: 安藤

TEL 045-761-3241 FAX 045-751-4460

E-mail jigyou-ka@mail.kpa.or.jp

令和7年3月4日

各都道府県学校薬剤師会会長 様  
各都道府県薬剤師会学校薬剤師部部長 様

第75回全国学校薬剤師大会実行委員会  
委員長 小川 護  
(公益社団法人神奈川県薬剤師会会長)

第75回全国学校薬剤師大会について（周知のご依頼）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当会会務運営に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、第75回全国学校薬剤師大会を下記の通り、神奈川県にて開催することとなりました。多くの学校薬剤師の皆様にご参加いただけますよう、大会の周知について格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

また、大会チラシをPDFデータにてお送りいたしますので、ご活用いただけますと幸いです。

なお、参加申込み等詳細については令和7年5月頃のご案内を予定しておりますことを申し添えます。

敬具

記

大会名 : 第75回全国学校薬剤師大会  
日 時 : 令和7年11月20日(木) 17:00~20:45(予定)  
会 場 : ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル  
(神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1)  
開催形式: 現地開催のみ

以上

【大会事務局】

〒235-0007

神奈川県横浜市磯子区西町14-11

公益社団法人神奈川県薬剤師会 担当: 安藤

TEL 045-761-3241 FAX 045-751-4460

E-mail jigyou-ka@mail.kpa.or.jp

# 第75回 全国学校薬剤師大会

in 神奈川



期日

2025年 11月20日(木)

会場

ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル  
横浜市西区みなとみらい1-1-1

特別  
講演

製薬・製菓を営む外郎家650年の歴史と未来  
— 日本の文化を励みに時代を越えた恩返し —

講師

二十五代  
外郎 藤右衛門

主催：公益社団法人日本薬剤師会・公益社団法人神奈川県薬剤師会

講師

二十五代 ういろう 外郎 とうえもん 藤右衛門



昭和37年3月生まれ。成蹊大学経済学部卒業後、約20年の銀行勤務を経て、2004年に外郎家後継者指名を受けて本家に入る。2007年に横浜薬科大学入学、2013年に同大学卒業、薬剤師国家試験合格。2017年11月、名跡「藤右衛門」を襲名。

●主な役職

株式会社ういろう 代表取締役  
神奈川県公安委員会委員  
(一社)小田原市観光協会会長

小田原市文化振興審議会委員  
(公社)神奈川県観光協会理事  
横浜薬科大学客員教授

●趣味 ゴルフ、流鏑馬

●外郎家略歴

1368年元朝滅亡時に渡来した陳延祐ちんえんゆうが元朝の役職「礼部員外郎」の一部を用いて、日本に帰化した折に、陳外郎と名乗ったことに始まる。医薬並びに大陸の知識に長けたことから足利幕府で重用され、約百年京都で活躍した。1504年に北条早雲に招かれ小田原に移住し北条氏五代の領国経営の一役を担い、江戸時代は東海道小田原宿の宿老として街づくりに励む。650年間二十五代に亘り一子相伝で受け継がれる妙薬「透頂香」とうちんこうとお菓子はどちらも「ういろう」の愛称で呼ばれている。昔ながらのモノづくりと対面販売に徹し、関連する文化を励みに、歴史を重ねている。

演題

「製薬・製菓を営む外郎家ういろう650年の歴史と未来」  
— 日本の文化を励みに時代を越えた恩返し —

タイムスケジュール

16:00

17:00

17:55

18:55

19:15

20:45

受付

開会式・表彰式

特別講演

閉会式・休憩

懇親会